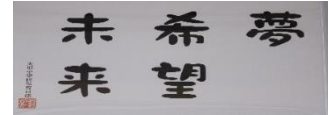


3学年だより



新潟市立大形中学校
3学年だより No.66
令和元年7月10日発行
文責:立川 宏

一歩

バス停がない！？市役所ってどこですか！？

平日の中学校授業日に行われる高校体験入学が始まりました。先日、新潟中央高校の体験入学に向かう生徒と先生の電話でのやりとりの内容です。

生徒「先生、予定ではあった**バス停がない**のですが・・・。」

先生「(???) バス停がないって、どういう意味？」

生徒「予定ではあったバス停で、バスに乗ろうと思ったら、バス時間に遅れてバスが来ないのです。」

先生「それは、バスに乗り遅れたと言うのだよ。〇〇高校にどうやって行けばいいかわかりますか？」

生徒「わかりません・・・。」



万代バスセンターにいると言うので、市役所方面に行くバスをみつけて乗るよう指示をしました。バスを降りて後、市役所から高校への行き方はわかるか質問すると、「**市役所ってどこですか？**」と聞き返されました。市役所・・・、知らないです、よね。

そのため、市役所前のバス停で降りたら、先に高校に行っている大形中学校の先生に市役所バス停に向かってもらうから、市役所前でその先生と合流すること、会えなかったら再度大形中学校に電話するよう伝えました。

生徒は、バスに乗り、無事高校(!)に着きました。

生徒は、バスに乗り、市役所近くに来ると、中央高校前バス停は市役所の次のバス停であることを知り、市役所で降りず、中央高校前まで行きました。そしてバスを降りて、徒歩で高校までたどり着きました。そして、到着後に中学校に「着きました」とさわやかな電話をくれました。安全に開始時間前に目的の高校に到着してよかったです。

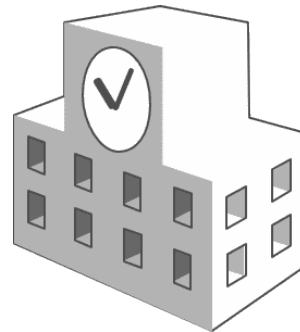


高校に到着しホッとしている生徒は、中学校に「高校への到着」を電話連絡してくれました。市役所前では、生徒の到着を時間と安全を気にして待っている先生がいました。学校から「高校前のバス停で降り、生徒自身で高校に到着した連絡をもらいました」と伝えました。市役所前の先生は、体験入学の受付を生徒が行ったかを気にして、急いで高校に向かいました。

今回の出来事は、生徒の判断が間違いとは言い切れませんが、知っておかなければいけないこともあります。生徒と合流するために現地の先生は、予定の待ち合わせの場所から移動しました。今回は、高校に向かう生徒全員がひとまとまりで行動していたので対応できました。これが複数のグループに別れて、今回のようなことが起きれば、高校で待っている先生が移動して探すことは不可能です。

生徒は、乗ったバスの中で学校へ電話連絡をすることはできません。今回は、無事到着したのでよかったです。高校前バス停で降りて、高校がどこかわからなかったら、どうしたのだろうと思うと、着いてよかったと本当に思います。中学3年生ですから、生徒自身が地元の人に高校への道を聞けばいいのですが。

電話で、「市役所で降りる」ようバス停を指定したのは、いくつかの理由があります。①中央高校に歩いて行ける距離であること、②迷っても公衆電話があること、③高校に行っている中学校の先生からも遠くないこと、④交番が近くにあり、聞けば対応できること、などです。電話による伝達方法で、一度に多くの内容は伝えません。みなさんの行動に指示を出すときには、先生方はみなさんが思っている以上に安全に配慮して話をしているのです。



体験入学で高校への行き方(交通手段・徒歩ルート・時間など)は、十分な下調べをしておきましょう。時間に遅れそうになり、あわてることが、交通事故などにもつながります。日頃、スマホを持ち、ルート検索を使って目的地に行く習慣のある人は、事前に高校の場所を調べて何?という気持ちかもしれません。スマホに道を教えてもらわなくても、必要なことはメモ用紙などに記録をして、目的の高校にたどり着けるようにしなければいけません。一緒に行く仲間に任せて、下調べをしない生徒は、高校の体験入学に参加する気持ちもその程度なのではと思ってしまうます。

「市役所ってどこですか?」は、オジサンにとって衝撃的な言葉でした。冷静に考えれば、目印として伝えた市役所ですが、生徒にとってはどこにある、どのような建物かわからないことは不思議なことではないのでしょうか。中学生にとって、市役所は必要のない、知らない施設ですね。社会性を培うとは、世の中のことに目を向け、地域のことを知ることでもあると、再確認するとともに、改めてみなさんのような中学生にもものを伝える難しさを実感しました。

持ち物(カバン・筆記用具)は大丈夫!?

高校の体験入学に行くときに制服を着ていく、運動部など体験活動がある生徒は体育着を持って行く。これは中学生のみなさんにも理解できるでしょう。

高校へ体験入学や入試に行くときに、カバンはどうしていますか。通学時使用している背負いカバンを持って行く。ここまでは大丈夫でしょうか。カバンに、キーホルダーなど装飾品は付いていませんか。中学校登校時、一つくらいキーホルダーが付いているのは認めています。体験入学や入試では、カバンにキーホルダーなどの余計な装飾品が付けていけないものです。



また、みなさんが中学校で使っている筆入れを見ると、最近その筆入れを使用する目的は、「筆記用具を入れる」ためなのか、「ぬいぐるみ」として持ってきているのか、わかりづらい物があります。

じゃらじゃらとカバンにキーホルダーを付けて体験入学に参加する、本来の機能はどこにあるかわからないような筆記用具を持って行く。これは、真剣な態度で参加する中学生の姿、持ち物ではありません。

友達とおそろいの筆記用具にしたから、修学旅行で買って来た思い出だからという理由は、高校にとってはどうでもよいことで、学習する気持ちの持ち主かどうかを考えた時、学習より遊び優先の考え方の生徒と思われるでも仕方ありません。

